

—医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。—

使用上の注意改訂のお知らせ

2022年11月

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

リファンピシンカプセル150mg「サンド」

日本薬局方 リファンピシンカプセル



販売 ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

製造販売

サンド株式会社

東京都港区虎ノ門1-23-1

このたび、標記製品の「使用上の注意」を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。
今後のご使用に際しましては、下記内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

【改訂内容（_____：追記箇所 _____：削除箇所）】

改訂後				改訂前			
【禁忌】（次の患者には投与しないこと） (1)省略 (2)ルラシドン塩酸塩、タダラフィル（アドシルカ）、マシテンタン、ペマフィブラート、チカグレロル、ロラチニブ、ポリコナゾール、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩、リルピピリン塩酸塩・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩・エムトリシタビン、ドルテグラビルナトリウム・リルピピリン塩酸塩、エルビテグラビル・コビシタット・エムトリシタビン・テノホビル ジソプロキシシルフマル酸塩、エルビテグラビル・コビシタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、ドラビリン、カボテグラビル、カボテグラビルナトリウム、ソホスブビル、レジパスビル アセトン付加物・ソホスブビル、ソホスブビル・ベルパタスビル、グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル、テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、ビクテグラビルナトリウム・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、エルバスビル、グラゾプレビル水和物、アメナメビル、ニルマトレルビル・リトナビル、アルテメテル・ルメファントリン又はブラジカンテルを投与中の患者（「3. 相互作用」の項参照） (3)省略				【禁忌】（次の患者には投与しないこと） (1)省略 (2)ルラシドン塩酸塩、タダラフィル（アドシルカ）、マシテンタン、ペマフィブラート、チカグレロル、ロラチニブ、ポリコナゾール、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、アタザナビル硫酸塩、リルピピリン塩酸塩、リルピピリン塩酸塩・テノホビル ジソプロキシシルフマル酸塩、リルピピリン塩酸塩・エムトリシタビン、リルピピリン塩酸塩・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩・エムトリシタビン、ドルテグラビルナトリウム・リルピピリン塩酸塩、エルビテグラビル・コビシタット・エムトリシタビン・テノホビル ジソプロキシシルフマル酸塩、エルビテグラビル・コビシタット・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、ドラビリン、 <u>ダクラタスビル塩酸塩</u> 、 <u>アスナプレビル</u> 、ソホスブビル、レジパスビルアセトン付加物・ソホスブビル、ソホスブビル・ベルパタスビル、グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル、テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、ビクテグラビルナトリウム・エムトリシタビン・テノホビル アラフェナミドフマル酸塩、エルバスビル、 <u>グラゾプレビル水和物</u> 、 <u>アメナメビル</u> 、 <u>アルテメテル</u> ・ <u>ルメファントリン</u> 又は <u>ブラジカンテル</u> を投与中の患者（「3. 相互作用」の項参照） (3)省略			
【使用上の注意】 3. 相互作用 (1) 併用禁忌（併用しないこと）				【使用上の注意】 3. 相互作用 (1) 併用禁忌（併用しないこと）			
薬効分類	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬効分類	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
	省略				省略		
抗ウイルス剤	HIV感染症治療薬 省略	これらの薬剤の作用が	省略	抗ウイルス剤	HIV感染症治療薬 省略	これらの薬剤の作用が	省略
	リルピピリン塩酸塩 (エジュラント)	減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A4)誘導作用により、リルピピリン塩酸塩の代謝を促進し、Cmin、Cmax及びAUC ₂₄ をそれぞれ89%、69%及び80%低下させると考えられている。		リルピピリン塩酸塩 (エジュラント) リルピピリン塩酸塩・テノホビル ジソプロキシシルフマル酸塩・エムトリシタビン (コムプレラ)	減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A4)誘導作用により、リルピピリン塩酸塩の代謝を促進し、Cmin、Cmax及びAUC ₂₄ をそれぞれ89%、69%及び80%低下させると考えられている。
	省略				省略		

ドラビリン (ピフェルトロ)	ドラビリンの作用が減弱するおそれがある。	本剤のCYP3A4誘導作用により、ドラビリンの代謝を促進し血中濃度を低下させると考えられている。	ドラビリン (ピフェルトロ)	ドラビリンの作用が減弱するおそれがある。	本剤のCYP3A4誘導作用により、ドラビリンの代謝を促進し血中濃度を低下させると考えられている。
カボテグラビル カボテグラビル ナトリウム (ボカブリア)	カボテグラビルの作用が減弱するおそれがある。	本剤のUGT1A1誘導作用により、カボテグラビルの代謝を促進し、血中濃度を低下させると考えられている。	ダクラタスビル塩酸塩 (ダクルインザ)	ダクラタスビル塩酸塩の作用が減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A4)誘導作用により、ダクラタスビル塩酸塩の代謝を促進し、血中濃度を低下させると考えられている。
省略			省略		
アメナメビル (アメナリーフ)	アメナメビルの作用が減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A4)誘導作用により、アメナメビルの代謝を促進し、血中濃度を低下させると考えられている。	アスナプレビル (スンベブラ)	アスナプレビルの作用が減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A4)誘導作用により、アスナプレビルの代謝を促進し、血中濃度を低下させると考えられている。
ニルマトレルビル・リトナビル (パキロビッド)	ニルマトレルビル及びリトナビルの作用の減弱や耐性出現のおそれがある。	本剤のCYP3A誘導作用により、ニルマトレルビル及びリトナビルの代謝を促進し、血中濃度を低下させると考えられている。	省略		
省略			アメナメビル (アメナリーフ)	アメナメビルの作用が減弱するおそれがある。	本剤の肝薬物代謝酵素(CYP3A4)誘導作用により、アメナメビルの代謝を促進し、血中濃度を低下させると考えられている。
省略			省略		

【改訂理由】

リファンピシン製剤の情報に基づき、「禁忌」及び「相互作用」の項を変更いたしました。

改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE 医薬品安全対策情報 (DSU) No. 313」に掲載されます。

改訂添付文書につきましては、医薬品医療機器総合機構ホームページ (<https://www.pmda.go.jp/>) 及び弊社医療関係者向けホームページ (<https://med.nipro.co.jp/pharmaceuticals>) に掲載されます。

【資料請求先】
ニプロ株式会社
 医薬品情報室
 TEL 0120-226-898
 FAX 06-6375-0177